

金沢大学附属病院産婦人科に入院し、婦人科臓器（子宮・卵巣）の良性または悪性（前癌病変の疑い）の病気のため手術が行われた患者さんを対象に臨床研究のお知らせです。

HP 公開用 提示文書

研究名「シチジン脱アミノ化酵素（APOBEC ファミリー）のヒト女性生殖器とそれに由来する腫瘍における発現の検討」

研究責任者：金沢大学医薬保健研究域医学系分子移植学・教授・藤原浩
研究分担者：金沢大学医薬保健研究域医学系分子遺伝学・教授・村松正道
金沢大学医薬保健研究域医学系分子遺伝学・助教・若江享祥
金沢大学医薬保健研究域医学系分子遺伝学・助教・喜多村晃一
金沢大学附属病院周産母子センター・准教授・高倉正博
金沢大学附属病院産婦人科・助教・水本泰成
金沢大学附属病院産婦人科・講師・中村充宏
金沢大学附属病院産婦人科・助教・保野由紀子
金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・飯塚崇

【この研究の目的】

シチジン脱アミノ化酵素である APOBEC ファミリーという一連の酵素群が女性生殖臓器（子宮や卵巣など）にどのように発現しているかを調べます。

この酵素は DNA の構成成分の一つであるシトシンを別のものに変化させる酵素です。いろいろな組織や細胞に発現しており、それぞれで様々な役割を担っています。

近年、この酵素がエイズウイルス、子宮頸癌の原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス、B 型肝炎ウイルスなどの種々のウイルスからの感染に対して防御する働きが言われています。女性の生殖器はこれらのウイルスの感染経路の一つでもあることから、この酵素が女性生殖臓器でウイルスに対して防御す

るために働いている可能性があります。

またこの酵素はがん化にも関連していることが分かってきていて、子宮頸癌、子宮体癌や卵巣癌の発がんに関わっている可能性もあります。

異常の理由から、シチジン脱アミノ化酵素である APOBEC ファミリーがヒト生殖臓器にどのように発現し、ウイルスに対する防御や発がんにどのように関わっているかを調べる目的で行います。

【金沢大学附属病院産婦人科に入院され手術を受けられた患者様へ】

2005年7月1日から2015年6月30日までの10年間に金沢大学附属病院産婦人科に入院し、婦人科臓器（子宮・卵巣）の良性または悪性（前癌病変の疑い）の病気のため手術が行われた方を対象としています。

良性疾患としては、子宮筋腫、子宮腺筋症、良性の卵巣腫瘍などが含まれます。悪性疾患としては子宮頸部異形成（前癌病変）、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、腹膜癌などが含まれます。

【この研究の方法について】

この研究は、通常の診療の範囲内で得られた臨床の情報（病歴や血液検査の値など）、および手術で切除された組織を評価し記録することにより行われます。組織の評価方法ですが、正常の組織と異常の組織（がんの部分や前癌の部分など）に酵素（APOBEC ファミリー）がどの部分にどれくらい発現しているのかを調べます。ウイルス感染が存在している場合にはウイルスの DNA を抽出してどのようなウイルスが感染し、変異などがおきていないかなども調べます。また癌化やウイルス感染に伴って、組織の細胞の遺伝子がどのように変化しているのも検討します。

集計されたデータは学会発表、学術論文などで公表されることがありますが、個人個人の情報が公表されることがありません。

【予想される利益と不利益について】

この研究に伴う利益はありません。また過去の診療録および採取済みの組織検体を検討するので、不利益もありません。

【健康被害が発生した場合について】

この研究に伴う健康被害が生じる事はありません。

【プライバシーの保護について】

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

具体的には、記録したデータに対象者の個人情報とは無関係の番号を割り振ります。その番号と対象者の個人情報番号（カルテの ID 番号など）との対応表を作成します。その対応表は、外部と接続できないパソコンで管理し、ファイルにはパスワードを設定することによって個人情報を保護します。このような方法をする事により、必要な場合に情報と個人を識別できるようにします。

【研究への参加の自由と同意撤回の自由について】

この研究は、通常の診療の範囲内で得られた情報や手術で切除された組織を検討・記録することにより行われます。対象者が多く、一人一人の同意を得るのは難しいため、このようにホームページ上に研究の内容を公開し、研究の情報を提供しております。

もしあなたが、この研究の対象者（またはその両親などの家族）であり、この研究の対象となることを希望しない場合は 2016 年 6 月 30 日までに申し出てください。その場合は、直ちに取得した診療情報は破棄し、この研究に使用することはありません。

【研究に関する窓口】

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、更に詳細な情報を知りたいなどがありましたら、遠慮せずいつでもお尋ねください。

研究事務局：

金沢大学附属病院産科婦人科学教室

連絡先担当者：金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・飯塚崇
電話：076-265-2425（内線 2904）